



AI時代に再評価「ブリタニカ百科事典」の話

ネットやデジタルデバイスの登場以来、多くの「アナログデバイス」が姿を消しました。その代表例とも言えるのが紙の事典。隆盛を誇り、時代の流れでデジタルに移行した「ブリタニカ百科事典(スコットランド)」が、現代に新しい形で復活を遂げています。

かつて紙媒体で家庭や教育現場を支えたブリタニカ百科事典は、専門家による正確な知識を提供、家の本棚に並ぶ象徴的な存在でした。辞典を購入することは、教育への投資であり、知的な家庭を表すステータスともなっていました。

現在、ブリタニカは「Britannica AI」というサービスを展開。このAIチャットボットは、200年以上の歴史で培われた膨大な知識を基に、正確で信頼性の高い情報を提供します。

ウィキペディアや生成AIに見られる信頼性の問題を補完する存在として評価され、特に教育現場で広く受け入れられています。今年の売上高は1億ドルに達する見込みで、事業はさらに拡大しつつあります。

生成AIの普及により、AIが不正確な情報やバイアスを学習する「学習汚染」のリスクが問題視されています。信頼できる情報源の活用が、こうした課題を克服する鍵となるでしょう。その意味でも、ブリタニカAIのような専門知識に基づくツールは重要な役割を果たします。

AIは驚異的な可能性を秘めています。その基盤となるのは人類が長い歴史の中で積み上げてきた知識の結晶。技術と知恵の融合が、より豊かな未来を切り開く手助けとなることを期待したいものですね。



A~Dに入る数字を足すといくつになりますか?
解答は、次月号に掲載します。

	7			9			A
		C	6	3			8
			2			4	
1		7		5	9		
	4					1	
		8	6	3			5
	5			2			
8			7		6		B
	D		4			2	

解答欄 ^A + ^B + ^C + ^D = 合計

12月号の答え ^A 7 + ^B 3 + ^C 2 + ^D 8 = 合計 20

先達に学ぶ。

「家族と共に
困難に打ち克つ」

長谷川町子
(漫画家)



国民的アニメ『サザエさん』の原作者であり、日本初の女性漫画家、長谷川町子。漫画家で唯一、国民栄誉賞を受賞した。

1920年に佐賀で生まれ、生後まもなく福岡へ。4姉妹の三女だった町子はわんぱく娘で、幼い頃から絵を描くのが好きだった。

13歳で父が病死。翌年東京に引っ越した。『のらくろ』で有名な漫画家、田河水泡の弟子になりたいという町子に、母は弟子入りを後押し。田河の下で漫画を学んだ。才能が認められ15歳で漫画家デビューした。16歳で新聞連載を持った。戦争で福岡へ疎開。終戦の翌年に「夕刊フクニチ」から4コマ漫画の連載を依頼され『サザエさん』が誕生。磯野家の陽気な日常は日本国民を笑顔にした。

2度目の上京で、母は町子たちに『サザエさん』の単行本制作を命じた。家族は「姉妹社」を設立して自費出版したが、B5判横とじの第1巻は書店に並べにくいと返品に追われる事態に。それでも母はサイズを変えればいと励まし、第2巻をB6判にすると大ヒット。返品の山となっていた初版も全て引き取られた。

約28年間続いた『サザエさん』。だが何度か休載した。「これでいいのか。他に才能があるのでは?」と悩み、仕事道具を全て燃やしたときもある。休載中は粘土細工や刺しゅうを楽しむが、結局漫画が描きたくなくて復活するという調子だった。手術直後のベッドの上でも原稿に指示を出してしまうほど、漫画が好きだった。

どんなに困難な状況でも、家族と前向きに乗り越えてきたからこそ、世代を超えて愛される作品を描き続けられたのだろう。

Book Review
今月の一冊

基礎から学ぶ
海外資産の法務と税務

- 編著：セブンセンス税理士法人
- 出版社：金融ブックス
- 価格：2,200円(税込)
- 発売中

海外資産・国際相続にまつわる「国際資産税」を基礎から紐解く良書! 国際資産に関係する法務と税務の基本的な概念について、海外資産を持つ方や、海外に接点をもつ相続・贈与関係者の方から、多く寄せられる相談を基に構成。起こり得る問題を踏まえた、事前対策の基本書としても最適。特に相談の多い米国資産にも言及しながら、12のケース別の対処等も解説。 kinyubooks.co.jp



今月、この日に何があった?



2004年2月1日

テレビアニメ「ふたりはプリキュア」
放送開始

従来の女兒向けアニメは、主人公がやさしく柔かなものが多かった。企画者は、従来の枠にとらわれない番組を企画。日曜日の朝という時間は、主に男児向けの仮面ライダーや戦隊ヒーローの時間帯でもあり、「どりあえず変身して戦うのがカッコイイだろう」という発想で「戦い」をメインにした。華麗さではなく、香港映画のようなアクションを目指した。企画書にも「女の子だって暴れたい」と書かれた。女兒をエンパワーメントする新しいコンセプトの番組は人気を博しシリーズは定着、今年2025年2月には22作目となる「キミとアイドルプリキュア♪」が放送開始された。